

業界の声

情報連絡員

連雀事業 協同組合

理事 志村 等氏



組合及び組合員の現状について？

当組合は、甲府市中央の連雀通りに事務所を置く卸売業者で構成されており、組合員の大半を占める繊維製品卸業者を中心に県内小売業者を顧客とした事業を行っています。しかし、近年、県外の大手量販店等が多数山梨に進出したことにより、顧客である小売業者が次々と倒産し、組合員の現状は非常に厳しくなっています。

さらに、ここ数年は原油価格や金属の急速な高騰により仕入れ原価が急速に値上がりし、それを卸販売額に転嫁できないため、ますます厳しい状況になっています。

また、県内では大手と言われていた小売業者の状況も県外資本に押されて厳しい状況を強いられています。

今後、組合として力を入れていくことは？

大手量販店の進出によって地元小売業者が苦境に立たされています。しかし、古くから山梨県を支えてきたのは間違いなく県内に根付いた地元業者であり、それを支えることが卸業者としての大きな役割であり、当組合が一番力を入れるべき事です。

また、組合として連雀通りを活性化させるようなPRイベントを積極的に行っていきたいと考えています。

趣味は？

若い頃はゴルフをやっていましたが、最近では健康のためにウォーキングをしています。



甲府市中央に位置する連雀通り